

サイクルツーリズム ×SDGs

富士市 自転車を活用した 地域活性化

キーワード

SDGs、E-BIKE、サイクルツーリズム、富士市、地域活性化

8 働きがいも
経済成長も



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



○取り組んだきっかけ

富士市は2021年10月に「自転車活用推進計画」を策定し、「自転車に乗ることが楽しくて笑顔になるまちふじ」を目指して、安全に安心して自転車を利用できる環境づくりや自転車の利用拡大による市民生活の質の向上、自転車を活用した都市の魅力・地域活力の向上などの施策を進めています。

行政が取り組む施策に学生の柔軟な発想を活かしたい、学生に富士市のまちの良さに気づいていただきたい、さらに学生自らが情報を発信したくなるような施策を行いたい、という想いから「令和3年度ふじのくに地域・大学コンソーシアム事業ゼミ学生等地域貢献事業」に指定課題を提示いただきました。

○活動の目的

上記を踏まえ、若者の発想力と行動力を活かし、富士市が積極的に取り組むE-BIKEを活用した自転車観光、ポタリング等を通じて、地域活性化に貢献することを目的に実施しました。

○具体的な内容

本事業は、2021年度小豆川ゼミ3年 7名、2年 16名の計23名で取り組みました。

まず、マーケティング施策としてE-BIKE等を活用した地域活性化を捉え、ターゲットや施策内容、施策のもたらす効果等について検討を行いました。あわせて全国の自転車を活用したまちづくりの先行事例を調査・分析し、成功事例の共通点・特徴をメンバーで共有しました。

これらを踏まえて、初心者・中級者を対象に具体的なサイクリング・ルートを企画し、おすすめの観光スポットや飲食店を調査し、フィールドワークを企画しました。フィールドワークでは、初心者コース、中級者コースそれぞれ2グループに分かれて、事前にルートの確認を行い、飲食店に取材のアポイントをとりました。当日は、実際にE-BIKEなどの自転車に試乗しながらおすすめの観光スポットや飲食店を取材するとともにコースの検証を行い、課題および地域への提案をまとめました。

○期待される効果

学生は、富士市の地域資源の発見からフィールド調査の設計・実施、成果発信としてのマップ制作、さらに成果報告会の実施まで、一連のプロセスを経験しました。

プロジェクトを通じて、社会人基礎力をはじめとして活きた学びを習得しました。

※成果報告会の当日の様子は静岡新聞、読売新聞、富士ニュースに掲載されました。

富士市サイクルステーションでは、学生が制作したサイクリングマップの大型パネルが掲示されています。また、学生から提示された課題および提案は、富士市の今後の自転車活用推進事業の施策に役立てていただきます。



※本事業は、「令和3年度 ふじのくに地域・大学コンソーシアムゼミ学生等地域貢献推進事業」の助成を受けて実施いたしました。

教員名 小豆川 裕子

所属学部・学科 経営学部・経営学科

職位 教授／経営学科長(静岡)



連携先

富士市産業交流部 交流観光課

プロサイクリングチーム レバンテフジ静岡

コイズミチアキ氏(デザイナー)<富士市在住>